



令和6年度 蒲郡市立形原中学校 グランドデザイン

教育理念 「人は人を浴びて人になる」

形原中学校教育目標

ふるさとを愛し、知・徳・体の調和のとれた生徒を育てる

— 形原大好き！ 人を浴びて伸びる形中生 —

目指す生徒像 「どう生きるのかを問い続ける生徒」

- ① 自分で考え、判断し行動する
- ② 多様な考え方や特性を認め、他者を尊重する
- ③ 豊かな発想で、新たな価値を生み出す

学校経営の方針

「人は人を浴びて人になる」という理念にもたれ、「自分の意見をもつ」ことを学校づくりの核とします。

- ① 生徒たちが、様々な人とかかわり、自ら考え、判断し、行動する経験を積むことで、自分にとって大切なものは何かを考え、それに従って生活できるようにします。【人を浴びて考える生徒】
- ② 教職員が、ワークライフバランスを大切にし、氣力を充実させ、自ら考え、持ち味を生かしながら協働して教育力の向上をめざします。【チームで働く考える教職員】
- ③ 学校・家庭・地域が、共通の目標やビジョンを掲げ、ともに教育活動をすすめることで、学校を元気にし、地域を元気にします。【地域とともに考える学校】

本年度の重点努力目標

知（確かな学力・「学び合い」）を育む

- ア 生徒が、課題に対し、自らすすんで、解決しようと粘り強く取り組み、自分の学びを振り返り、次につながる学習に取り組みます。
- イ 生徒が、生徒同士、教職員、地域の方など様々な人との対話を通して、自分の考えを広げ、理解を深める学習に取り組みます。
- ウ 各教科の教育内容を横断的な視点で実際の社会と関連付けることで、生徒が知識や技能の習得だけでなく、よりよい生活や社会をつくるために、それをどう生かすか考え、動き出す学習に取り組みます。

徳（豊かな心・「認め合い」）を育む

- ア 学校生活において、自己存在感（居場所づくり）、共感的な人間関係（絆づくり）、自己決定の場（自分づくり）に取り組みます。
- イ 考え、議論する道徳に取り組み、広い視野から物事をとらえ、自分のこととして考えられる学習展開を工夫し、道徳的実践力を高めます。
- ウ 家庭や地域・関係機関と連携し、体験的な学習の充実を図ります。
- エ 学校生活をよりよくする自治活動や縦割り活動、社会に働きかける活動の充実を図ります。
- オ 校内外の美化に気を配り、うるおいと安心感のある環境を整えます。

体（健やかな体・「かかわり合い」）を育む

- ア 体育の授業、体育的行事、部活動、休み時間のスポーツや体を使った遊びなどに目的を明確にし、運動の日常化を図り、体力の向上に努めます。
- イ 「自分の命は自分で守る」を基本にした安全・防災教育を推進し、生活の中で起こりうるあらゆる危険に対して、適切に判断し、回避できる能力を養います。
- ウ 食育や保健指導の充実を図り、生徒の健康管理への意識と実践力を高めます。

ふるさと形原を愛する心を育む

- ア 学校運営協議会（コミュニティースクール）により、学校と家庭・地域で育てたい子ども像やめざす学校像を共有し、保護者や地域住民の参画を得て、共にその実現をめざします。
- イ 学校集会・保護者会・地域の会合や各種通信・ホームページ等で学校の教育ビジョンや学校生活の様子を積極的に発信し、学校・家庭・地域が、協働して子どもたちを育てるという意識づくりを醸成します。
- ウ 学校教育活動に学校支援ボランティアを参画させ、幅広い知識や専門性、豊富な経験を授業や行事で活用する。そのことで、質の高い教育活動を実現するとともに、生徒たちがふるさとの良さを実感できるようにします。